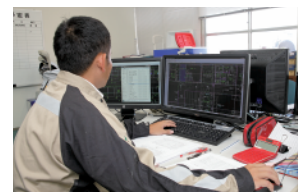




学校、庁舎、病院など多くの人が集まる「場」を作り出す責任と喜びが、建築業に携わる魅力です。



小竹興業の前身となる「小竹組」創業からは100年を超える歴史があります。



現場監督は、図面のチェックやスケジュール管理など多くのデスクワークも抱えます。

小竹興業株式会社

■建築工事業（新築及び改修、修繕工事）

学校、病院、商業施設など
誰もが利用する建築物をつくっています。

地元ならではのアフターケアも。

明治28年、宮大工だった初代が「讃岐の建築物に新しい息吹を吹き込もう」と起こした「小竹組」が小竹興業の前身です。それから100余年、「技術と心の小竹」と高い評価を得て、現在は体育館や図書館、学校、病院・福祉施設、商業施設やマンションなど、香川県民誰もが利用することの多い大型施設を中心に建築しています。

施主から厚い信頼を得ているのは、細やかなアフターメンテナンス。地元業者の強みを生かし、不具合や劣化の修繕にスピーディーで小回りの利く対応を行います。

近年は社内外で技術研修を行う他、資格取得者への報奨金制度を設けるなど、時代に合わせた方法で社員育成に注力。また、高校生を対象に受け入れていたインターンシップを、大学生や専門学校生にも行うなど、リクルーティングにも積極的です。社員の若返りも実現しており、主力社員は30～40代となっています。

首都圏の仕事が増えつつあり、今後は関東で独立組織を作る構想もあるようです。香川で、そして首都圏でも、小竹興業の手掛ける大型建築物が人々に幸せをもたらします。



デザイン・設計などを手掛ける部署。用途やデザインに添った建物の部材などを決定します。



地域社会の中で、象徴的かつ意義のある建築物を数多く手掛けています。

仕事で
キラリ!



公共性の高い大型建築の現場監督をしています。更地から竣工まで年間1～2物件を担当し、常時50～80人の職人さんがいる現場をまとめて予定通り作業を進めるには、体力、精神力、社交性もフル稼働です。それだけに、引き渡し時は何にも代えがたい達成感があります。

建築部主任 道井 敦さん



長い歴史と信頼関係が強みです。

同じ建物を手掛けたとしても、建築業者ごとに仕事の進め方は違います。長い歴史を持つ弊社は、依頼主とも下請け業者とも関係が深く、より意義ある仕事を行えます。また未来の香川のシンボルになる建物をつくる若い力が、のびのび育つ環境も整えています。

代表取締役社長 小竹 和夫

Company Profile

本社：香川県高松市福岡町4-28-30

☎ 087-851-9096

☎ 087-822-6975

http://www.kotakekogyo.com/

設立 ■ 1945年12月

資本金 ■ 2,100万円(2017年6月現在)

従業員数 ■ 63名(2017年7月現在)